

事業者ヒアリング概要

(1) 調査目的

和泉市内の都市公園における更なるにぎわい創出等を図るため、民間活力を導入した施設等の整備に向けた、民間事業者へのヒアリングを実施した。ヒアリング調査においては、対象公園の市場性を把握し、施設整備等の実現性及び利活用にあたっての諸条件を整理することを目的とする。

(2) 調査対象事業者

民間事業者による都市公園の活用実績のある企業として4社を選定。

(3) 調査実施日

2019年9月26日(木)～9月30日(月)

(4) 調査方法

調査対象企業へ訪問し、ヒアリング形式での調査を実施。

(5) 調査対象公園

対象とする都市公園は、榎尾川公園、いしたちはら公園、中央公園、宮ノ上公園、松尾寺公園の5公園である。

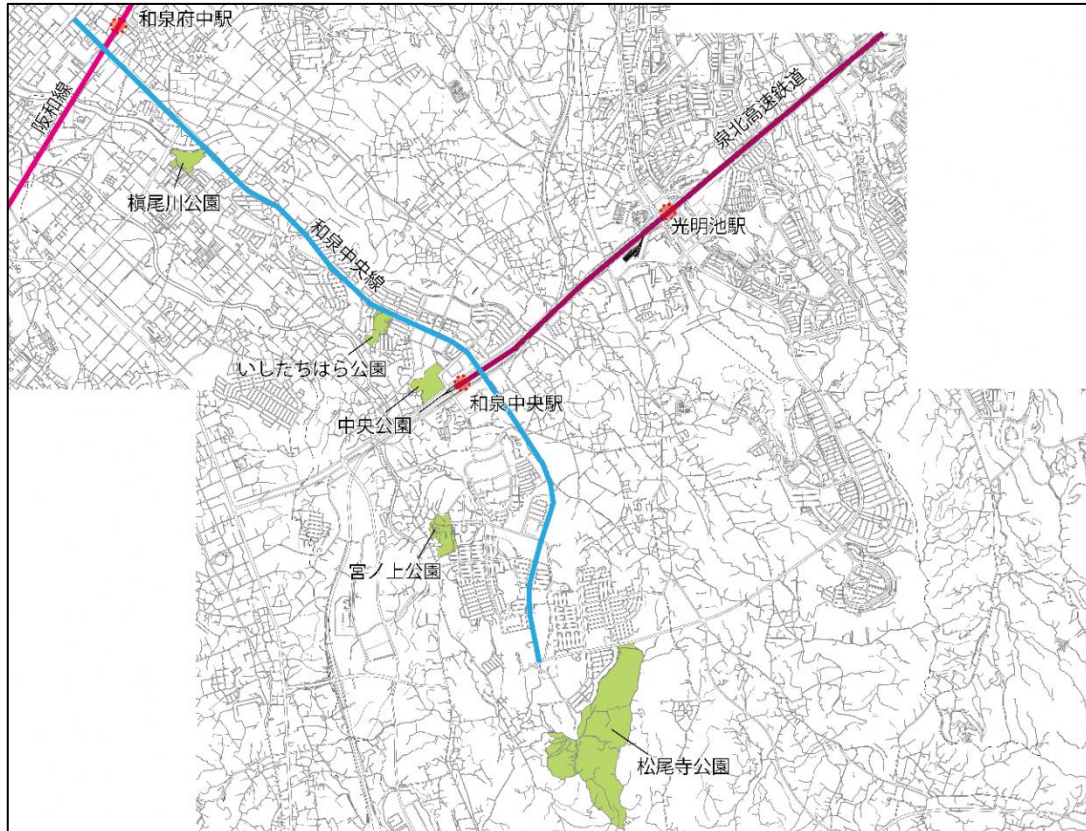


図 対象5公園の位置

(6) ヒアリング結果概要

対象公園	ヒアリング概要
槇尾川公園	<ul style="list-style-type: none"> ・立地特性等から公園の集客性は低いと考えられ、民間参画は難しい。
いしたちはら公園	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民等をターゲットとしたカフェやコンビニエンスストア等の施設導入の可能性はないわけではないが、市側で和泉中央線に面した場所などに駐車場を整備することが必要。
中央公園	<ul style="list-style-type: none"> ・駅利用の周辺住民をターゲットとしたカフェやレストラン等の飲食店舗導入の可能性はないわけではないが、市側で駐車場の整備をすることが必要。
宮ノ上公園	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携による公園活用の可能性はあるが、立地条件や大学生の購買力が低いことから市場性が低く、施設整備を伴った収益施設の導入は難しい。
松尾寺公園	<ul style="list-style-type: none"> ・駅や道路から離れた立地条件や公園全体の完成時期が不明確であることから、集客性が低く、民間参画は難しい。
対象公園における民活事業導入について	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事例を見ても、元々一定の集客や人通りのあることが条件となり現時点では参入困難。 ・対象公園に対するビジョンが不明確であるため、民間企業としての提案がしづらい。 ・イベント企画や駐車場の整備等の公共の支援があれば、公園内の新たなにぎわい創出に向けた民間参画の可能性が高まる。 ・現在の指定管理料の低減を図ることは難しい。 ・複数公園をまとめた事業とすることで民間企業の参画意欲が高まる可能性も考えられるが、徐々に事業の範囲を広げたほうが民間参画の可能性は高まる。